

前進する中国地域へ

経済産業省 中国経済産業局長
畑野 浩朗



平成28年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

さて、我が国経済は、企業収益や雇用情勢が着実に改善し、また、一部に弱さがみられるものの、設備投資や個人消費にも持ち直しの動きが見られるなど、緩やかな回復基調が続いています。こうした状況の下、アベノミクスの「第2ステージ」に入り、政府としては、「新三本の矢」を放つとともに、「未来投資による生産性革命の実現」と、「ローカルアベノミクス」を推進しています。

経済産業省といたしましては、中堅・中小企業・小規模事業者の「稼ぐ力」の徹底強化を推進するとともに、I o T (Internet of Things) の導入による製造・サービスの改革など新たな取組の支援や、TPP (環太平洋戦略的経済連携協定) の大筋合意を機に市場開拓や海外展開を目指す企業の支援、農商工連携の強化を推進してまいります。

当局といたしましては、こうした動きを踏まえつつ、以下の3つの分野に重点的に取り組んでまいります。

第1に、中国地域のものづくり産業の「強み」を活かし、地域基幹産業の競争力強化、技術開発等イノベーション創出に取り組み、地域を支える産業競争力強化を推進します。

第2に、「経営発達支援計画」の認定や、「よろず支援拠点」の機能拡充により、小規模事業者の支援体制を強化し、地域産業の下支えとなる環境を整備します。

第3に、エネルギーミックスの実現に向けて取り組むとともに、本年4月から電力の小売全面自由化が実施されることを受け、引き続き電力の安定供給や電気料金の競争を促進します。

これらに加えて、地方創生に向け切れ目のない多様な支援を展開するとともに、本年から市町村との連携強化のため「縁(ゆかり)パートナー」を設置し、当局の施策の周知や、市町村からの相談対応等行ってまいります。

最後になりましたが、年頭にあたり、新しい年が皆様にとって飛躍の年となるよう祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。

